

人と海鳥と猫の共生をめざして



入場無料
【定員150名】

天売猫の シンポジウム & 譲渡会

2月21日 [日曜日]
エス・ワン動物専門学校
札幌市中央区北1条西19丁目2-7
【地下鉄東西線西18丁目駅徒歩3分】



※上履きをお持ちください。※駐車場はありませんので、公共交通機関等でお越しください。

天売猫の譲渡会など 11:00~16:00 / 1階・4階会場

天売島で生まれ育った猫「天売猫」の 里親になりませんか？

海鳥の楽園である天売島の猫を保護し譲渡をしています。
天売猫以外の保護猫・犬も参加する場合があります。

- ☆天売猫の取り組みのパネル展示、映像上映
- ☆預かりボランティアミニ説明会、個別相談会
- ☆羽幌町の特産物、チャリティグッズ販売
- ☆天売猫とのふれあいコーナー
- ☆羽幌町〇×クイズ など

●当日に猫のお引き渡しはできません。会場にて面談の上、譲渡の可否を決定し、後日直接ご自宅へお届けいたします。その際に譲渡誓約書へご記入・捺印をしていただきますのでご了承ください。●譲渡希望者多数の場合は、抽選になりますのでご了承ください。●未成年の方は保護者の同意と誓約書の記入・捺印が必要です。また、高齢の方への譲渡にもいくつか条件がありますのでお問い合わせください。●猫たちは随時譲渡していますので、写真の子がいない場合もありますのでご了承ください。



譲渡会と預かりボランティアの
お問合せは
ニャン友ねっとわーく北海道
TEL 090-3391-0841
(10:00~19:00)

シンポジウム 13:00~15:00(開場12:30~) / 4階会場

基調講演 共に生きる 未来のために

坂東 元 (ばんどう げん) 氏
旭山動物園 園長
ボルネオ保全トラストジャパン理事



1986年に酪農学園大学酪農学部獣医学修士課程卒業後、旭川市旭山動物園へ就職。飼育展示係長、副園長を経て現職。1997年の「こども牧場」から「ペンギン館」「あざらし館」「ちんぼんじー館」「レッサーパンダ舎」「エゾシカの森」「きりん舎かば館」など施設のデザインを担当、数々のアイデアを出し具体化してきた。また手書きの情報発信や、もくもくタイムなどのソフト面でも係の中心となり具体化、システム化を図ってきた。現在は、とりの村の設計を手がけている。ボルネオでの活動も本格化しており、マレーシア国サバ州での野生生物レスキューセンターの建設に着手し第一期工事を終える。
〔著書〕動物と向きあって生きる(角川学芸出版)、旭山動物園へようこそ(二見書房)、夢の動物園(角川学芸出版)、ヒトと生き物 ひとつながりの命(道友社)

事例発表

天売猫の取り組み紹介

「人と海鳥と猫が共生する天売島」連絡協議会
(環境省羽幌自然保護官事務所) 竹中 康進氏

パネルディスカッション

テーマ 人と海鳥と猫が共生する天売島を目指して

- パネリスト(順不同)
北海道大学水産科学研究所 教授 綿貫 豊氏
(公社)日本愛玩動物協会顧問・フリーライター 畠山 雅子氏
(一社)天売島おらが島活性化会議 代表理事 齊藤 暢氏
天売猫預かりボランティア・大学生 中嶋 真耶氏
「人と海鳥と猫が共生する天売島」連絡協議会 会長 高橋 徹氏
コーディネーター
環境省北海道環境パートナーシップオフィス チーフ 溝淵 清彦氏
司会進行
フリーアナウンサー 藤崎 未來氏

主催 / 「人と海鳥と猫が共生する天売島」連絡協議会

- 〔事務局(羽幌町役場町民課) 電話0164-68-7003〕
構成団体: 羽幌町役場 町民課、北海道 環境生活部環境局生物多様性保全課、環境省 羽幌自然保護官事務所、公益社団法人 北海道獣医師会、北海道DOぶつnet[犬のM基金、ニャン友ねっとわーく北海道、酪農学園大 幸せのしっぽ、リアルドッグフード、NPO法人 猫たちを守る十勝Wishの会、NPO法人 猫と人を繋ぐツキネコ北海道、大学生ボランティア]
協力 / 学校法人 高橋学園 エス・ワン動物専門学校、環境省北海道環境パートナーシップオフィス
後援 / 札幌市 ■特別協賛/ タカラ・ハーモニストファンド(宝酒造株式会社)

天売島のネコ問題 Webページ
<http://www.teuri-neko.net>

facebook
<https://www.facebook.com/teuri.neko>

人と海鳥と猫の共生をめざして

天売猫のシンポジウム&譲渡会

天売島の海鳥を守るため、行政と動物保護団体が手を取り合い、2014年から本格的に行っている野良猫の保護と馴化、譲渡の取り組みについてのシンポジウムと、保護した天売猫の譲渡会を開催します。

パネリスト

綿貫 豊(わたぬき ゆたか)氏

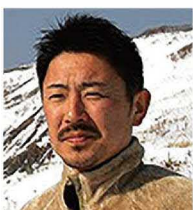
北海道大学水産科学研究所 教授



1959年長野県出身。1987年北海道大学農学博士。1988年より1993年まで国立極地研究所助手。昭和基地でアデリーペンギンの調査を行う。1994年北海道大学農学研究所助手、助教授を経て、2014年より同大学水産科学研究所教授。北海道天売島で長期的海鳥モニタリングを継続するほか、英国、米国、オーストラリアの研究者と共同して、バイオロギング技術を使って海鳥の海上での行動を調べている。専門：動物の行動生態および海洋生態。受賞歴：2009年太平洋海鳥グループ特別功労賞、2009年日本生態学会大賞賞。主な著書に「海鳥の行動と生態：その海洋生活への適応 生物研究社(2010年)」など。

齊藤 暢(さいとう みつる)氏

(一社)天売島おらが島活性化会議 代表理事



1973年北海道・天売島出身。天売小型運輸(有)、(一社)天売島おらが島活性化会議 代表理事。1990年北海道留萌工業高校電気科卒業、天売小型運輸(有)入社。2014年一般社団法人天売島おらが島活性化会議発足代表理事に就任し、天売島の地域活性化を目的として活動中。活性化会議として天売猫の取り組みに関わっている。

高橋 徹(たかはし とおる)氏

「人と海鳥と猫が共生する天売島」連絡協議会 会長



1948年北海道・釧路市出身。麻布獣医科大学獣医学科卒業。1973年高橋動物病院開設。2013年より公益社団法人北海道獣医師会 会長。現在、学校法人麻布獣医学園 理事をはじめ、学校法人高橋学園 エスワン動物専門学校 理事、北海道動物愛護推進協議会 座長、財団法人北海道盲導協会 評議員など多数の役職を務める。天売島での飼育ネコ去勢・不妊手術等の取り組みには2012年より関わる。

司会進行

藤崎 未来(ふじさき みらい)氏

フリーアナウンサー



北海道釧路市出身。フリーアナウンサーとして、テレビ、ラジオ、司会、ナレーション、CM出演などで活動。現在はFM81.3MHzさっぽろ村ラジオで放送している「ミラクルミュージック レディオ」(毎週土曜日21時30分~22時28分)に出演。テレビ番組のレポーターで動物管理センターを取材したことをきっかけに、動物愛護、犬猫の保護活動に興味を持つ。自身の担当するラジオ番組で「いままにできること」というコーナーをつくり、その中で犬猫の保護活動のことについて定期的に取り上げている。ネコ好きで、一昨年引き取った保護猫(ろくく)と暮らしている。

富山 雅子(はたけやま まさこ)氏

(公社)日本愛玩動物協会顧問・フリーライター



1961年北海道出身。立教大学卒。立教大学大学院異文化コミュニケーション研究科博士前期課程在学中。フリー編集者・ライター、ペットシッター。学校法人人文化学園非常勤講師。東京都動物愛護推進員。子どものころから動物なら何でも好きで、現在も人と動物のつながりや外来種としてのペットをテーマに各地で取材を進めている。また動物の愛護と適正飼養の普及啓発推進を目的として小学校などへの訪問授業を行っている。天売島は小学生のころ旅行してとても心に残った島。ネコ飼養条例制定後から島の方々ほか関係者にお話を伺うようになった。この猫対策の行方には多大な興味を抱き、応援している。

中嶋 真耶(なかじま まや)氏

天売猫預かりボランティア・大学生



1986年東京都出身。ニャン友ねっとわーく 預かりボランティア、酪農学園大学獣医学部獣医学類在学中。兼ねてより犬猫の保護活動に興味をもち、大学入学後に猫の保護団体「ニャン友ねっとわーく」に加わり活動を開始。保護猫の預かりボランティアとして医療ケアや里親探しを行い、天売猫問題の取り組みに関わる。

コーディネーター

溝淵 清彦(みぞぶち きよひこ)氏

環境省北海道環境パートナーシップオフィス チーフ



1973年香川県出身。北海道大学卒。在学時より、環境や福祉分野等の市民活動に関わる。民間の調査研究会社で地域振興や環境保全事業に従事した後、2009年より(公財)北海道環境財団に勤務。2012年より環境省事業の担当チーフとして地域振興や環境政策に係る中間支援に従事、現在に至る。天売島の取り組みには、「地域活性化に向けた協働取組の加速化事業」の採択により、2015年7月より関わる。

「人と海鳥と猫が共生する天売島」連絡協議会の取り組み



絶滅危惧種のウミガラス(オロロン鳥/写真左)とケイマフリ(写真右)。



保護した天売猫は不妊手術等を経て、預かりボランティアの元で馴化を行っています。

天売島は、北海道北西部の日本海に浮かぶ人口約330人の小さな島。島の西側の断崖には、春から夏にかけて絶滅危惧種のウミガラスやケイマフリなど、8種類約100万羽の海鳥が繁殖のためにやってきます。この貴重な海鳥の生息環境を保護するために、海鳥繁殖地は天然記念物や国定公園、鳥獣保護区などに指定されています。

しかし、天売島で繁殖する海鳥のうち約8,000羽いたウミガラスが、30羽前後に激減したほか、約3万羽いたウミネコが、1,000羽以下になるなど、いくつかの海鳥ではその生息数が減少しています。

その要因の一つとして考えられているのが、島で増えてしまった野良猫です。そのため、環境省、羽幌町、北海道、北海道獣医師会と猫の保護団体が手を取り、「人と海鳥と猫が共生する天売島」連絡協議会を発足し、猫を保護し馴化(じゅんか)させてから里親を探す活動を行っています。天売島にいる約200~300匹の野良猫を2014年秋から本格的に保護し、北海道獣医師会の協力で行った不妊手術や病気のケアを行い、羽幌町の北海道海鳥センターや、北海道内各地のボランティアの手により「天売猫」として馴化しています。馴化した天売猫はHPや譲渡会などで広く飼い主を募集し、2015年夏までに約50匹の猫が新しい里親さんの元で幸せに暮らしています。

預かりボランティア募集中!

人に馴れるまで、ご自宅などで天売島の野良猫を預かってもらい、日常のお世話をしていただく預かりボランティアを随時募集しています。いくつか条件がありますので、まずは下記までお問い合わせください。

- ケージや食器類一式を貸し出します。
- 食餌やトイレ用砂などの消耗品は原則1ヶ月分提供します。
- 天売猫の特性や馴化方法について詳しく記載した「天売猫手帳」をお預けします。
- 先住猫の有無や住環境などを確認させていただき、預かりの可否を決定します。

預かりボランティアお申し込み・お問合せ先
ニャン友ねっとわーく北海道

電話番号 [10:00~19:00]
090-3391-0841

FAX [24時間受付]
011-204-8622

メール [24時間受付]
teuri-neko@nyantom.jp